

第 6 号	ゆやま 令和8年9月4日 松山市立湯山中学校  【学校の教育目標】 笑顔・夢・挑戦 諦めない生徒の育成	
-------------	---	--

○校長室より

「た・い・わ（**た**しかにと受け止める **い**けんの理由を言う **わ**かりやすくまとめる）」

校長 池田 秀彦

2学期が始まりました。保護者のみなさまには、夏休み中もお子様の生活や健康にご配慮いただき、ありがとうございました。まだまだ厳しい暑さが続いています。学校でも 熱中症対策を講じながら教育活動を進めてまいります。ご家庭におかれましても、十分な睡眠や食事、水分補給など、体調管理にご留意いただきますようお願いいたします。

さて、2学期は、体育大会や文化祭など、大きな学校行事が予定されています。こうした行事では、一人ひとりが自分の役割を果たすことはもちろんですが、それ以上に、仲間と力を合わせて「一つのものをつくりあげる」経験を大切にしたいと考えています。そのために、学校として大切にしたいのが「対話(た・い・わ)」です。自分の考えを相手に伝えること。そして、それと同じように、「確かに」と相手の考えをしっかりと聞くこと。時には、自分とは異なる意見に出会うこともあるでしょう。そのようなときに、すぐに否定するのではなく、なぜそう考えたのだろうと相手の思いに心を寄せる。そこから、お互いの「意見」を出し合い、どうすればみんなが「わかりやすい」ものになるのかを考える。そうした対話を重ねることで、一人では思いつかなかった新しい考えが生まれたり、最初に考えていたものとは違う、よりよいものができあがったりします。もちろん、話し合いの中では意見がぶつかったり、なかなか考えがまとまらなかったりすることもあります。しかし、そのようないわゆる「もめる」経験は生徒の成長にとってとても大切なものだと思います。2学期の学校行事を、単に「行事を成功させるための活動」とするのではなく、子どもたちが対話を通して人と関わり、自分の考えを深めていく機会にしていきたいと考えています。ご家庭でも、学校での出来事について話を聞いていただき、「あなたは思ったの？」など、お子様と対話する時間を大切にいただければ幸いです。

まだまだ暑い日が続きますが、子どもたちにとって実り多い2学期となるよう、教職員一同取り組んでまいります。地域や保護者のみなさまのご理解とご協力を、引き続きよろしくお願いいたします。



○第2学期始業式

9月1日に、第2学期始業式を行いました。

始業式では、校長から、フィギュアスケートのりくりゅうペアのオリンピックでのエピソードから、「あきらめない心」と「仲間を信じ、共に支え合う勇気」を持つことの重要性についてお話がありました。そして、「2学期は、1年で最も長く、最も多くの物語が生まれる学期。逆転の物語は、いつでも、誰にでも開かれている。一人では届かない場所も、信じ合える仲間がいればきっと届く。『やる気・本気・元気』で、実り多く、忘れられない2学期にしていきましょう。」と呼びかけられました。



【校長式辞】



【テレビ放送による始業式】



【始業式後の学級活動】

○県大会・四国大会等の結果

始業式の後、県大会・四国大会等に出場した生徒たちの表彰伝達を行いました。愛媛県総合体育大会でのラグビーフットボール競技の部準優勝、ハンドボール競技の部準優勝・四国大会第3位、柔道競技の部女子団体第2位・女子個人第3位(四国大会出場)、テニス競技の部男子団体優勝・四国大会準優勝、陸上競技の部女子1年1500m第1位・四国大会第4位、全日本吹奏楽コンクール愛媛県大会での中学生B部門銀賞、松山南ライオンズカップ松山地区中学生ソフトテニス大会での女子個人第3位が表彰されました。県大会・四国大会等で、素晴らしい演奏を披露したり、並み居る強豪を相手に健闘を見せてくれたりした生徒たちの活躍が光った夏休みでした。



【各競技の表彰】



【県吹奏楽コンクール出場】



【県大会で善戦する選手】

○夏休みの反省と2学期の抱負(代表生徒発表)

夏休みの反省と2学期の目標

1年2組 Mさん

今年の夏休みは、「時間を効率的に使う」ことを意識した夏休みでした。

中学生になって初めての夏休みは、部活動もあり、小学生の時より忙しい日々でした。

私は美術部に所属しています。この夏は、普段の部活動での個人制作に加えて、今年度から新しくなる体育大会の入場門の制作に取り組みました。入場門の制作で最も苦労したのが色を塗る作業です。これから使われ続ける入場門を台無しにはいけない、と丁寧に塗ったつもりでした。しかし、大きな入場門に色を塗るのには慣れてなく、下書きの線からはみ出すことも多くありました。失敗が重なり、焦ったこともありましたが、2、3年生にカバーしていただいたおかげで、素早く作業が進みました。完成したのを見たときに、自分たちが大きな作品を完成させたことを実感し、心が躍るような達成感がありました。

部活動だけでなく習い事もあったため、この夏休みは勉強時間が取りにくくなりました。小学生のときは、時間がたっぷりあったので、宿題を後回しにしてやりたいことを先にやっても、宿題を8月末に終わらせることができました。しかし、中学校ではそうはいかないと思いました。そこで、わたしがこの夏休みに意識したことは、時間を効率的に使うことです。思えば、入学してからずっと時間に追われる日々が続いていました。しかし、入学してからの学校生活や集団宿泊研修の中で、時間の使い方について学びました。まず、どの宿題をいつまでに終わらせるかという目標を具体的に立て、計画的に進めました。また、毎日の生活から、うまく時間を見つけ、1日に3時間勉強することを続けました、おかげで宿題以外の勉強も効率よく進みました。他にも、生活設計を細かくしたことで、空いた時間に家でのお手伝いや、読書や遊ぶ時間なども多く取れました。

このように、時間を効率的に使うことで、勉強や部活動、好きなことにもバランス良く取り組めて、充実した夏休みになりました。私は、今学期に学級委員長を務めます。学級委員長としての責任を持って、学級のみんなをまとめていかなくってはなりません。学級全体が様々な行事や活動に全力で取り組み、充実した2学期にするために、時間を無駄にしないように、声掛けをしていきたいです。

時間を効率的に使い、何もかも全力で取り組める最高の2学期にしていきたいです。

2学期にがんばりたいこと

2年1組 Iさん

僕は2学期にがんばりたいことが、三つあります。一つ目は、学級委員長として責任を持って役割を果たすことです。2学期は、クラスのみんなが気持ちよく学校生活を送ることができるように、周りをよく見て行動したいと思います。自分から進んで声を掛けたり、困っている人がいたら助けたりするなど、言われてから動くのではなく、自分で考えて行動できる学級委員長を目指します。また、クラスのみんなの意見にも耳を傾け、一人一人が安心して過ごせるクラスづくりに貢献したいです。

二つ目は、部活動です。僕はソフトテニス部に所属しています。夏休みに行われた中予地区夏季新人大会では、ベスト8という結果を残すことができました。これまで練習してきたことが結果につながり、うれしかったです。しかし、そこで満足してはいけないとも感じました。10月には新人戦があります。個人、団体ともに県大会出場を目指しています。そのために、普段の練習から一球一球を大切に、技術だけでなく体力や精神力も鍛えていきます。また、仲間と声を掛け合い、苦しいときでも最後まで諦めない気持ちを大切にします。

三つ目は、勉強です。僕は今までよりも成績を上げることが目標にしています。特に、国語と英語が苦手なので、2学期はこの2教科から逃げずに学習に取り組みたいです。苦手な教科は、分からないことが増えるほど、勉強することが嫌になってしまいます。だからこそ、授業に集中し、分からないことそのままにせず、少しずつでも復習することを心掛けます。毎日の小さな努力を積み重ね、テスト前だけがんばるのではなく、普段から学習する習慣を身に付けたいです。

僕は、2学期の終わりに、「これだけがんばった」と自信を持って言えるように、何事にも全力で取り組みます。学級委員長として人のために行動し、部活動では仲間とともに目標に向かって努力し、勉強では苦手なことにも挑戦します。うまくいかないことや、努力してもすぐに結果が出ないこともあると思います。しかし、そこで諦めず、一歩ずつ前に進むことを大切にします。

勝負の2学期を迎えて

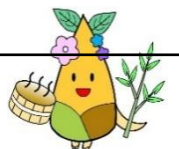
3年2組 Mさん

夏休みに入ってからすぐに、僕は最後の部活動の試合となる、県総体に出場しました。緊張していた試合前、いろいろな人たちが励ましてくれました。一回戦は重信中と対戦。最初に2ゲームを取られ、焦りましたが、応援の声を力に逆転することができました。次の八幡浜中との2回戦も勝利。そして四国大会進出がかかった3回戦でストレート負けをしてしまい、僕の3年間の部活動は、終了となってしまいました。試合後も、悔しい気持ちを引きずっていましたが、今は、切り替えて、後輩に僕たちがかなわなかった四国大会出場を託したいという気持ちです。キャプテンとしてチームに言い過ぎたこともありましたが、みんなが付いてきてくれたことにとても感謝しています。このメンバーとテニスができ、嬉しかったです。

2学期は、僕たち3年生にとって、勝負の学期です。進路決定の大事なときを迎えます。また、いろいろな学校行事が、すべてこの3年間の集大成になると思います。体育大会、合唱コンクール、文化祭など、湯山中学校80周年を記念する行事でもあります。各行事とも、僕たちは最上級生として、後輩を引っ張って、積極的に取り組み、学校全体として盛り上げていきたいです。

この夏休み中、熊本で大きな地震が起き、今現在も、まだまだ復興の途中です。また、千葉でも大変な豪雨災害が起き、多くの被害がありました。被災地では、多くの方々が大変な思いをしていると思います。1年生のときに学習した防災のことをもう一度復習して、今自分たちができることは何か、常に考えて、できるだけ行動に移したいです。そして、この2学期、本当に自分の希望の進路実現に向けて、脇目もふらず、学習に励むことが、これから一番大事なことです。学力向上を第一に、そして、湯山中学校での一日一日を大切にしながら、3年生のみんなと一緒に、最高の思い出を作っていきたいと思います。

3年生のみなさん、まだまだ暑い日は続きますが、暑さ対策を行いながら、早く生活のリズムを戻して、後悔のない日々を過ごしていきましょう。





【代表生徒発表(1年)】



【代表生徒発表(2年)】



【代表生徒発表(3年)】

○親子奉仕活動

8月29日、湯山中学校の運動場で「親子奉仕活動」が行われました。熱中症対策のため朝8時からの活動ということでしたが、当日は生徒だけでなく、たくさんのPTAの方々に集まってきていただき、あっという間に運動場がきれいに整備されました。時折涼しい風も感じられる中ではありましたが、途中給水を行いながら、PTAの方々と協力して、効率よく作業を進めることができました。作業終了後には、生徒たちも美しくなった運動場を見て、とても喜んでいました。中には、さっそく2学期に行われる体育大会に向けて、気持ちを高めていた生徒もいたようです。PTAの皆様ご協力ありがとうございました。



【PTA 会長様からのご挨拶】



【運動場周辺の草引きや石拾い】



【PTAの方々と一緒に活動】

○第2回避難訓練

9月2日、地震発生時における安全確保行動を身に付けるため、今年度2回目の避難訓練を行いました。特に今回は、6月に東京都北区で発生した音楽準備室火災を受けて、消防署員や消防設備事業所の方々の協力を得ながら、救助袋を使った訓練も実施しました。学校などの3階以上に設置される救助袋は、火災などで階段や廊下が使えないときの「最後の砦」となる重要な設備と言えます。生徒からは「袋に入る前は怖かったけれど、しっかりと降りることができた。」「火事が起きても降りることができそう」といった発言が聞かれ、万一に備えて自信をつけた様子でした。



【土砂災害を想定した垂直避難】



【救助袋を使った訓練】



【消防署の方々による講評】